

# 実務マスター型(分野別実務研修)

所属・役職は2025年3月現在

No.	セット名称	研修課題	研修講師	講義時間
A-2-1	保健医療実務コース 【10講義】	① 我が国の保健医療制度の現状と課題	吉川 隆博(東海大学、教授)	48分
		② チーム医療とリーダーシップ	畠山 卓也(高知県立大学、准教授) 古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授)	46分 53分
		③ 一般身体科領域における公認心理師への期待	服巻 豊(広島大学、教授)	100分
		④ 生活習慣と未病状態への支援	神田橋 宏治(としま昭和病院、医師) 竹中 晃二(早稲田大学、名誉教授)	64分
		⑤ 保健医療分野におけるトラウマインフォームドケア	大岡 由佳(武庫川女子大学、准教授)	64分
		⑥ 精神科急性期病棟における多職種連携	三井 督子(京都大学大学院医学研究科 助教) 草地 仁史(日本精神科看護協会 業務執行理事) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	57分
		⑦ リスクアセスメントとクライシスプラン	古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授) 野村 照幸(新潟医療福祉大学、教授) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	42分 24分 23分
		⑧ 地域在宅医療における公認心理師への期待	若林 英樹(三重大学、教授) 神田橋 宏治(としま昭和病院 医師) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	85分
		⑨ 医療従事者の虐待対応とその後 —TICの視点から	毎原 敏郎(兵庫県立尼崎総合医療センター、医師) 大岡 由佳(武庫川女子大学 准教授) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	85分 21分 23分
		⑩ こころとからだの境界域 :慢性一次性疼痛の臨床	黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授) 杉山 登志郎(福井大学、客員教授)	80分
A-2-2	福祉実務コース 【10講義】	① 生活と心理臨床	滝川 一廣(あなはクリニック、医師)	62分
		② 福祉領域における権利擁護と法制度	高橋 温(新横浜法律事務所、弁護士) 丹野 傑史(長野大学、教授) 加藤 伸司(東北福祉大学、教授)	31分 31分 42分
		③ 多職種協働による支援と心理職の役割	薬師寺 真(倉敷児童相談所、所長) 下山 真衣(信州大学、准教授) 加藤 伸司(東北福祉大学、教授)	43分 30分 35分
		④ 子育て支援と心理職の役割	八木 安理子(同志社大学、客員教授)	33分
		⑤ 障害のある当事者、家族、支援者への支援と心理職の役割	田熊 立(千葉県発達障害者支援センターCAS、副所長)	40分
		⑥ 児童虐待対応の流れと心理職の役割	薬師寺 真(倉敷児童相談所、所長)	45分
		⑦ 社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割1:小学校年齢児	藤原 誠(子どもの虹情報研修センター、研修課長)	66分
		⑧ 社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割2:思春期・青年期	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長)	57分
		⑨ 高齢者支援における高齢者と家族に対する心理的支援の実際	加藤 伸司(東北福祉大学、教授)	65分
		⑩ 強度行動障害の理解と支援の実際	高橋 潔(鉄道弘済会、理事)	47分
A-2-3	教育実務コース 【10講義】	① 教育の現状と動向	仲村 健二(文部科学省児童生徒課生徒指導室、室長) 石隈 利紀(東京成徳大学、特任教授)	38分 35分
		② 学校組織とチーム学校の理解	山口 豊一(聖徳大学、教授) 石川 悦子(こども教育宝仙大学、教授)	42分 43分
		③ 子どもの問題と心理教育的援助サービスのモデル	新井 雅(跡見学園女子大学、教授) 大石 幸二(立教大学、教授)	34分 49分
		④ 家庭や地域の問題と心理教育的援助サービス	野田 正人(立命館大学、名誉教授) 水野 治久(大阪教育大学、教授)	36分 37分
		⑤ 子ども、学校組織・風土、環境のアセスメント	半田 一郎(子育てカウンセリング リソースポート) 小野 純平(法政大学、教授)	46分 27分
		⑥ 教職員へのコンサルテーション・コーディネーション	谷島 弘仁(文教大学、教授) 小野瀬 雅人(聖徳大学、教授) 小林 朋子(静岡大学、教授)	29分 44分 30分
		⑦ チーム学校へのコンサルテーション	家近 早苗(東京福祉大学、教授) 西山 久子(福岡教育大学、教授)	30分 30分
		⑧ 保護者、地域との連携	大河原 美以(大河原美以心理療法研究室) 田村 節子(元東京成徳大学、教授 スクールセーフティネット・リサーチセンター、代表理事)	40分 50分
		⑨ 子ども(当事者)とのパートナーシップ	水野 治久(大阪教育大学、教授) 池田 美樹(桜美林大学、准教授) 小栗 貴弘(跡見学園女子大学、准教授)	40分 32分 35分
		⑩ 教育分野における課題と公認心理師の役割	石隈 利紀(東京成徳大学、教授) 家近 早苗(東京福祉大学、教授) 水野 治久(大阪教育大学、教授) 半田 一郎(子育てカウンセリング リソースポート) 大石 幸二(立教大学、教授)	101分

# 実務マスター型(分野別実務研修)

所属・役職は2025年3月現在

No.	セット名称		研修課題	研修講師	講義時間
A-2-3	司法・犯罪実務コース 【11講義】	導入	司法における人間へのまなざし	廣瀬 健二(元東京高等裁判所、判事) 橋本 和明(国際医療福祉大学、教授)	53分
		①	司法・犯罪関連施設における生活と関係性の治療的意味	村瀬 嘉代子(公認心理師試験研修センター、顧問 大正大学、名誉・客員教授) 富田 拓(北海道家庭学校樹下庵診療所・ 網走刑務所医務課、医師)	27分 62分
		②	司法・犯罪分野における特有の感情の理解	門本 泉(大正大学、教授)	69分
		③	公的支援と民間支援のシームレス連携	犬塚 貴浩(大阪刑務所、法務教官) 谷 真如(内閣府内閣サイバーセキュリティセンター、 参事官補佐) 野村 和孝(北里大学、准教授) 浅見 祐香(目白大学、専任講師) 嶋田 洋徳(早稲田大学、教授)	96分
		④	反省や内省を促す心理職の関わり	石川 隆行(宇都宮大学共同教育学部、准教授) 門本 泉(大正大学、教授)	45分 24分
		⑤	加害者支援と犯罪被害者支援	寺田 孝(川越少年刑務所、法務教官) 齋藤 梓(上智大学総合人間科学部、准教授)	40分 33分 37分
		⑥	逸脱行動の背景にある愛着の課題や発達課題の理解	富田 拓(北海道家庭学校樹下庵診療所・ 網走刑務所医務課、医師) 野坂 祐子(大阪大学、教授) 田中 康雄(ミネルバ病院、医師)	86分
		⑦	家庭内紛争の中にいる子どもの心理	安保 千秋(都大路法律事務所、弁護士) 熊上 崇(和光大学、教授)	46分 44分
		⑧	司法関係者等との有効な連携を図るためのアセスメントと関わり	寺村 堅志(常盤大学、教授) 仲 真紀子(理化学研究所、理事 立命館大学、教授)	38分 57分
		⑨	医療観察法と公認心理師の役割	古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授) 西中 宏吏(早稲田大学、助教)	58分 49分
		⑩	依存症の理解と対応	松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、薬物依存研究部部长 (兼任)薬物依存症センター、センター長)	85分
A-2-5	産業・労働実務コース 【10講義】	①	キャリアサイクル理論 －新入社員のリアリティ・ショック－	道谷 里英(順天堂大学、先任准教授)	55分
		②	組織論 －若手社員のうつ反応－	佐藤 恵美(メンタルサポート&コンサル沖繩、代表)	71分
		③	組織マネジメント論 －部長職による人材育成－	佐倉 健史(さんぎょうい株式会社 メンタルヘルス ・ソリューション事業室、室長)	68分
		④	リーダーシップ論 －女性研究職の登用－	大庭 さよ(メンタルサポート&コンサル東京、代表)	56分
		⑤	多職種連携 －関連職種との連携－	高野 知樹(神田東クリニック、院長)	55分
		⑥	外部EAP論 －若手の退職事例－	田中 勝男(公認会計士田中勝男事務所、 公認会計士・臨床心理士)	62分
		⑦	産業精神保健論	高野 知樹(神田東クリニック、院長)	60分
		⑧	復職支援(リワーク)	三宅 美樹(トヨタ車体研究所)	60分
		⑨	雇用に関わる法とルール －労働法と就業規則の枠組を知る－	小島 健一(鳥飼総合法律事務所、弁護士) 三宅 美樹(トヨタ車体研究所)	96分
		⑩	多様性の時代の雇用 －雇用における多様性を考える。 人権、倫理、公正との関連から－	白木 三秀(早稲田大学、名誉教授)	51分